

STAGE+を楽しむ(49)(HP 収録)

—バッハ音楽祭—

1. 始めに

前報(48)に引き続き、STAGE+のライブツィヒ・バッハ音楽祭の演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、ライブツィヒ・バッハ音楽祭の演奏を選びました。

ライブツィヒ・バッハ音楽祭

収録日: 2023年6月9日

J.S.バッハが、ライブツィヒのシンボルである聖トーマス教会の宮廷楽長に任命されてから300周年を祝う、野外コンサートをお届けします。市内広場に設けられた特別ステージにはピアニストのラン・ランを始め、ヴァイオリン奏者のダニエル・ホープやオーボエ奏者のアルブレヒト・マイヤーらスター演奏家が集結。現在の宮廷楽長アンドレアス・ライゼの指揮で、ゲヴァントハウス管弦楽団が偉大な作曲家を名曲で称えます。

ソリスト:

フランチェスカ・アsproモンテ (ソプラノ)、ソフィー・カウアー (チェロ)、キャメロン・シャバジ (カウンターテノール)、ダニエル・ホープ (ヴァイオリン)、アルブレヒト・マイヤー (オーボエ)、ラン・ラン (ピアノ)

アンサンブル:

ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団、トーマス教会少年合唱団

指揮:

アンドレアス・ライゼ

曲目:

ヨハン・セバスティアン・バッハ

モテット《主にむかいて新しき歌を歌え》BWV 225

(Thomas Leininger による編曲版)

アンドレアス・ライゼ(指揮)

ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団(オーケストラ)

トーマス教会少年合唱団(アンサンブル)

ヨハン・セバスティアン・バッハ

オーボエとヴァイオリンのための協奏曲二短調 BWV 1060R

ダニエル・ホープ(ヴァイオリン)

アルブレヒト・マイヤー(オーボエ)

アンドレアス・ライゼ(指揮)

ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団(オーケストラ)

ヨハン・セバスティアン・バッハ

カンタータ 第 10 番《わが心は主をあがめ》 BWV10 より第 2 曲

"Herr, der du stark und moechtig bist"

フランチェスカ・アスプロモンテ(ソプラノ)

アンドレアス・ライゼ(指揮)

ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団(オーケストラ)

ヨハン・セバスティアン・バッハ

カンタータ 115 番《備えて怠るな、わが霊よ》 BWV 115 より第 4 曲 :

"Bete aber auch dabei"

フランチェスカ・アスプロモンテ(ソプラノ)

ダニエル・ホープ(ヴァイオリン)

ソフィー・カウアー(チェロ)

Johannes Lang(オルガン)

Thomas Fritzsch(チェロ)

アンドレアス・ライゼ(指揮)

Cornelia Osterwald(チェンバロ)

ヨハン・セバスティアン・バッハ

無伴奏チェロ組曲第 1 番ト長調 G Major, BWV 1007

ソフィー・カウアー(チェロ)

ヨハン・セバスティアン・バッハ

カンタータ《全地よ、神に向かいて歎呼せよ》 BWV 51 より第 1 曲

"Jauchzet Gott in allen Landen"

フランチェスカ・アスプロモンテ(ソプラノ)

アンドレアス・ライゼ(指揮)

ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団(オーケストラ)

ヨハン・セバスティアン・バッハ ミサ曲口短調 BWV 232 (抜粋)

アンドレアス・ライゼ(指揮)

トーマス教会少年合唱団(アンサンブル)

ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団(オーケストラ)

ゴットフリート・ハインリヒ・シュテルツェル

《あなた場そばにいてくだされば》(バッハの歌曲 BWV 508 による)

フランチェスカ・アスプロモンテ(ソプラノ)

アンドレアス・ライゼ(ソプラノ)
ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団(オーケストラ)
ヨハン・セバスティアン・バッハ
《汝ら道を備え、大路をなおくせよ》 BWV 132 より第 5 曲
"Christi Glieder, ach bedenket"

ダニエル・ホープ(ヴァイオリン)
ソフィー・カウアー(チェロ)
キャメロン・シャバジ(カウンターテノール)
アンドレアス・ライゼ(指揮)
Cornelia Osterwald(チェンバロ)
Johannes Lang(オルガン)
ヨハン・セバスティアン・バッハ
《イエスよ、汝わが魂を》 BWV 78 より第 2 曲
"Wir eilen mit schwachen, doch emsigen Schritten"

フランチェスカ・アsproモンテ(ソプラノ)
ソフィー・カウアー(チェロ)
キャメロン・シャバジ(カウンターテノール)
アンドレアス・ライゼ(指揮)
Cornelia Osterwald(チェンバロ)
Johannes Lang(オルガン)

ヨハン・セバスティアン・バッハ 《ゴルトベルク変奏曲》 BWV 988 (抜粋)
ラン・ラン(ピアノ)

ヨハン・セバスティアン・バッハ
管弦楽組曲第 3 番ニ長調 BWV 1068 より第 2 曲 Air

アンドレアス・ライゼ(指揮)
ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団(オーケストラ)

ヨハン・セバスティアン・バッハ
管弦楽組曲第 2 番ロ短調 BWV 1067 より第 7 曲 Badinerie

アンドレアス・ライゼ(指揮)
ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団(オーケストラ)

ヨハン・セバスティアン・バッハ
チェンバロと弦楽のための協奏曲第 5 番へ短調 BWV 1056 より
第 2 楽章 Largo

ラン・ラン(ピアノ)
アンドレアス・ライゼ(指揮)
ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団(オーケストラ)

ヨハン・セバスティアン・バッハ

《心と口と行いと生活で》BWV 147 より第 10 番

"Jesus bleibet meine Freude" (Gregor Meyer による編曲版)

フランチェスカ・アスプロモンテ(ソプラノ)

ダニエル・ホープ(ヴァイオリン)

ラン・ラン(ピアノ)

アルブレヒト・マイヤー(オーボエ)

ソフィー・カウアー(チェロ)

キャメロン・シャバジ(カウンターテノール)

アンドレアス・ライゼ(指揮)

ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団(オーケストラ)



毎年実施されるバッハ音楽祭ですが、今回はバッハの聖トーマス教会の宮廷楽長就任 300 周年記念のコンサートで、豪華メンバーが集結しての演奏です。演奏された曲はお馴染みのものが多く、特別に編曲されたものもあります。

演奏は、いつもの聖トーマス教会ではなく、画像で見るとライブツィヒの旧市庁舎前の広場の両サイドに大画面を備えた仮設ステージからの演奏のようです。ゲヴァントハウスの指揮はネルソンスではなく、現在の聖トーマス教会宮廷楽長アンドレアス・ライゼで、バッハの職責がそのまま引き継いでいます。



屋外の仮設ステージということで音質が懸念されましたが、さすがにトーマス教会少年合唱団の合唱やコントラバスなどは少し苦しいところがあったものの、やはりマイク立てやPAの配置など、グラモフォンの収録だけあって、ソロや小編成のものには問題ありません。

ほとんどの曲はお馴染みのもので、バッハゆかりのライブチツヒの観客も心から楽しんでいる様子が伺えます。

ソプラノ、カウンターテナーの歌唱やヴァイオリン、チェロ、オーボエ、ピアノ、オルガン、チェンバロなどの音の質感は十分で、バッハらしい表情を表現しています。

昼間から始まり、だんだん日が落ちて暗くなる様子や、市庁舎らしい塔の時計の時刻を告げる鐘の音も入っていたりして、野外のコンサートの雰囲気を感じられます。最後の"Jesus bleibet meine Freude"は観客も一体となった合唱で、演奏者も観客もバッハの音楽を楽しんでいる様子がうかがえました。終了後は、オペラのカーテンコールのような、出演者総出に対して観客のスタンディングオーベーションが続きました。







以上